



2024年(令和6年)

6号

生駒市立桜ヶ丘小学校

サクショウクエスト

『えんとつ町のプペル』の主人公の少年の名前は次のうちどれでしょう。※正解は次号にて

A サクッチ B ルビッチ C クラッチ

※前号のこたえはA 第44回です。

全国学力・学習状況調査

－質問調査編－

4月18日(木)に第6学年の児童を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査(国語、算数)と質問調査の結果がWebで学校に公表されました。

前号に続き、質問調査の結果では、(1)学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況に関し、5年生までに受けた授業について、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」の質問に発表していたと答えた児童(全国よりも4.4ポイント高い)や「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問に当てはまると答えた児童(全国よりも3.5ポイント高い)の割合が全国及び奈良県より高い結果となり、「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」の質問に当てはまる、どちらかといえば、当てはまると答えた児童(全国よりも9.3ポイント低い)の割合が全国及び奈良県より下回っていることから、話し合いによって自分の考えを深める道徳授業の実践が求められます。

(2)ICTを活用した学習状況に関し、(5年生までの学習のようすを振り返り、)「ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる」(全国よりも5.8ポイント高い)や「ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる」(全国よりも3.3ポイント高い)の質問にとてもそう思うと答えた児童の割合が全国及び奈良県より高い結果となりました。

(3)学習に対する興味・関心や授業の理解度に関し、「算数の授業の内容はよく分かる」(全国よりも9.2ポイント高い)や「国語の授業の内容はよく分かる」(全国よりも5.8ポイント高い)の質問に当てはまると答えた児童の割合が全国及び奈良県より高い結果となり、「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」や「算数

の勉強は大切だ」の質問に当てはまる、どちらかといえば、当てはまると答えた児童の割合が全国及び奈良県より少し下回っていることから、これらのことに配慮した指導の充実が大切になります。

(4)児童の挑戦心・自己有用感・幸福感等に関する状況に関し、「友達関係に満足している」(全国よりも7.3ポイント高い)や「自分と違う意見について考えるのは楽しい」(全国よりも5.5ポイント高い)の質問に当てはまると答えた児童の割合が全国及び奈良県より高い結果となり、「自分には、よいところがあると思う」(全国よりも8.9ポイント低い)の質問に当てはまる、どちらかといえば、当てはまると答えた児童の割合が全国及び奈良県より下回っていることから、自尊感情を育む取組が重要になります。

(5)学校外での過ごし方(勉強時間、テレビゲーム等の時間)に関し、「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。)をしますか。」の質問に全くしないと答えた児童(全国よりも4.8ポイント高い)や「放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数選択)」の質問に学習塾など学校や家以外の場所で勉強していると答えた児童(全国よりも18.7ポイント高い)の割合が全国及び奈良県より高い結果となり、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」(全国よりも8.2ポイント低い)や「放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数選択)」の質問に友達と遊んでいると答えた児童(全国よりも16.5ポイント低い)の割合が全国及び奈良県より下回っていることから、児童の実態を知ることができます。

